

	いかたちょう 伊方町	〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1993番地1		電話 番号	(0894) 38-0211	
		地域 指定	半島 農振	過疎 国立公園	農工 辺地(11) 県立公園	特農 拠点都市

<http://www.town.ikata.ehime.jp/>

〈沿革〉

平17. 4. 1 町制施行 (伊方町・瀬戸町・三崎町 合併)

〈市町のあらまし〉

<p>愛媛県の最西端、豊予海峡に突き出した“日本一細長い”佐田岬半島に位置し、南は宇和海、北は瀬戸内海と三方を海に囲まれている。半島の中央部は200～300mの低い山地が東西に連なっており、平地が少ない。気候は、年間平均気温16～17℃で、著しい寒暖の差がなく温暖な海洋性気候である。</p> <p>風光明媚なこの地域は「耕して天に至る」と言われる段々畑で温州みかん、清見タンゴール、デコボンなどの果樹栽培が盛んに行われている。また、天然の好漁場に恵まれ、高級魚の一本釣りや採介藻、底引き網漁業が主に営まれ、山の幸、海の幸を利用した加工品も多く生産され、これら特産品を求めて観光客が県内外から訪れる。</p> <p>また、この地域特有の風を利用した風力発電など、自然エネルギーの利用を推進している。</p>

〈由来〉

<p>「伊方」という名の起源はいつの時代からかはっきりしていないが『日本地名語源事典』の「イカタ」「イガタ」の項に『土地がらがさまざまで地形語ではあるまい。「イヘカタ」(家方)か「イホカタ」(庵方)で、もと仮小屋のあった所をいうか、農・漁業の小屋であったかもしれない』とある。</p> <p>また、一説には「イカ」は山ろくなど後方に山を負うところに見られる地名で「タ」は土地の意味である。後ろに山をかかえた地形から名付けられたものか、はっきりしたところはわからない。</p>

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増改築	主な増改築箇所
平13年度		

〈行政組織〉

(令和 3. 2. 22現在)

議 会 (令和 2. 4. 1現在)

職員数 (令和 2. 4. 1現在)

区 分	名 前	任 期	議長	竹内 一則	副議長	木嶋 英幸	普通会計	156人
町 長	たかかど きよひこ 高門 清彦	令和 6.10. 1	議員	(条例定数)		16人	企業会計	22人
副町長	濱松 一良	令和 7. 2.21		(現 員)		16人	その他会計	15人
			任期	令和 3. 4.23			計	193人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令 2. 1.1住基
人 口	(△7.8%) 16,060	(△7.9%) 14,787	(△8.5%) 13,536	(△10.6%) 12,095	(△10.0%) 10,882	(△11.5%) 9,626	9,116
男	7,563	6,962	6,357	5,698	5,125	4,597	4,376
女	8,497	7,825	7,179	6,397	5,757	5,029	4,740
世帯数	5,993	5,760	5,521	5,183	4,884	4,488	4,552

年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	839 人	4,637 人	4,150 人
構成比	8.7 %	48.2 %	43.1 %

選挙人名簿
登録者数（令和2.9.1現在）

男	3,965 人
女	4,325 人
計	8,290 人

〈土地利用〉

（平27.2.1現在）（ha. %）

総面積 令和2.7.1 (km ²)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 令元.1.1	
			田	畑	樹園地		
93.98	4,752	50.6	897	0	17	880	3.0

西宇和郡

〈産 業〉 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平29年度)		就業人口(平27国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	4,173	9.0 %	1,556	32.8 %
第2次	5,791	12.5 %	834	17.6 %
第3次	36,224	78.4 %	2,359	49.7 %
計	46,188	100.0 %	4,749	100.0 %

〔注〕「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（平30年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
食料	4,326
繊維	143

所得（平29年度）

1人当たり 市町民所得	2,599 千円
----------------	----------

令和元年度の主な建設事業

（百万円）

今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
伊方町観光交流拠点施設整備事業	389	伊方町最終処分場整備事業	783
与修予防災センター新築工事	289	町道鳥津国道線道路新設事業	726
水道施設耐震化等促進事業	139	上水道重要給水施設管路耐震化事業	660
町道宇和海線道路改良工事(4工区)	76	豊の浦漁港地域水産物供給基盤整備事業	550
町道鳥津国道線道路新設工事	28	町道宇和海線道路改良事業	448
緊急避難路路面整備工事	19	三崎高校寄宿舎等整備事業	376
伊方中学校污水管修繕事業	15	大ホール舞台吊物整備改修工事	66
三崎総港周辺観光施設整備工事	14	町道塩成港線道路改良工事	60
伊方庁舎1階空調設備改修工事	13	いかた学童クラブ新築工事	37

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	○伊方地域 ○瀬戸地域 ○三崎地域	堂々山、女子岬、亀ヶ池、なぎの木、室鼻公園、レッドウイングパーク、道の駅「伊方きらら館」、亀ヶ池温泉、二見くさりん風の丘パーク 権現山、須賀公園、番匠鼻、川之浜海水浴場、塩成海水浴場、大久海水浴場、瀬戸展望休憩所、道の駅「瀬戸農業公園」、せと風の丘パーク、高茂高原 国立公園佐田岬、県立自然公園伽藍山、阿弥陀池、梶谷鼻、天然記念物あこ樹、伝宗寺の大楠、伽藍山展望台及び体験農園等、ムーンビーチ井野浦、みさき風の丘パーク 佐田岬はなはな、佐田岬灯台
祭 り 催 し 物	○伊方地域 ○瀬戸地域 ○三崎地域	秋まつり(10月中旬)、スポーツレクリエーション祭、きなはいや伊方まつり(7月下旬)、夏越祭(わぬけ) 秋まつり(10月中旬)、瀬戸の花嫁まつり(8月上旬)、風車まつり(10月)、佐田岬マラソン(11月第2日曜日) 秋まつり(10月8日・9日)、伽藍祭(4月上旬)、はなはな祭り(5月上旬)、お十五日(1月15日)、お伊勢踊り(2月11日)、権現祭(旧6月14日)、高神様祭(7月20日)、実盛様(虫送り)(旧5月16日)、輪くぐり(6月30日)、盆体育大会(8月14日)
公 営 宿 泊 施 設	○伊方地域 ○瀬戸地域 ○三崎地域	亀ヶ池温泉、亀ヶ池物語 瀬戸アグリピア 二名津体験住宅

〈名物・特産品〉

○伊方地域 ○瀬戸地域 ○三崎地域	ハウスみかん、温州みかん、伊予柑、地酒、ちりめん、つわぶきの漬物、みかんジュース、じゃこてん、じゃこカツ 温州みかん、瓶ウニ、ちりめん、わかめ、しいたけ、瀬戸金太郎いも、瀬戸アジ 清見タンゴール、サンフルーツ、伊予柑、デコポン、ナガオレンジ、伊勢エビ、フグ、アワビ、サザエ、ウニ、タイ、アジ、サバ、瓶ウニ、太刀魚の骨センベイ
-------------------------	--

〈主な公共施設〉

伊方スポーツセンター(温水プール、アリーナ、トレーニング室等) 町民グランド 瀬戸球場 体育館(10) 武道館(2)
 亀ヶ池物語(短期宿泊施設) 瀬戸アグリピア(短期滞在型宿泊施設) 二名津体験住宅(お試し暮らし体験住宅)
 室鼻公園(海水プール、シーサイドハウス、キャンプ場) 須賀公園(海水プール、キャンプ場) 道の駅「きらら館」、
 「瀬戸農業公園」 風の丘パーク(二見、せと、みさき) 風力発電所 亀ヶ池温泉 佐田岬はなはな レッドウイングパーク
 園芸施設 農水産物処理加工施設 三崎種苗生産施設 生涯学習センター(図書館、児遊館、杜氏資料館)
 町見郷土館 町民センター 公民館(4) 保育所(6) 小学校(5) 中学校(3) 給食センター 県立高校
 診療所(3) 保健センター(3) デイサービスセンター(4) 老人憩の家(8) 集会所(49) 隣保館

〈主要課題〉

佐田岬半島の自然・伝統・文化・風土、そして、大切に受け継がれている“助け合いの精神「合力(こうりく)の心」”を尊び、豊かな個性をさらに磨き、町民が生き生きと輝くまちを、そして、訪れた人が元気に輝くまちを目指します。

「1」保健・医療・福祉 絆で創る、健康長寿と町民総活躍のまちづくり
 「2」教育・スポーツ・文化 「ふるさと愛いっぱい」の人材(人財)が育つまちづくり
 「3」住環境・社会基盤 定住の希望を叶える、快適・安心・安全なまちづくり
 「4」自然環境・環境保全 豊かで美しい環境で暮らす、自然を楽しむまちづくり
 「5」産業 振 興 農・漁・商工・観光が一体となる、産業全体が成長するまちづくり
 「6」住民協働・行財政 信頼と協働で創る、全員参加のまちづくり

〈地域づくりの事業等〉

1. 絆で創る、健康長寿と町民総活躍のまちづくり
 ○健康増進活動の推進 ○医療体制の充実 ○結婚・出産・子育てへの支援の充実
 ○高齢者福祉の充実 ○障害者福祉の充実 ○地域福祉の充実

2. 「ふるさと愛いっぱい」の人材(人財)が育つまちづくり
 ○学校教育の充実 ○生涯学習・生涯スポーツの活性化 ○伝統・文化の継承と発展

3. 定住の希望を叶える、快適・安心・安全なまちづくり
 ○道路・河川の整備、交通環境の充実 ○港湾機能の充実 ○住環境の充実 ○防災・消防体制の充実
 ○安心・安全なまちづくりの推進

4. 豊かで美しい環境で暮らす、自然を楽しむまちづくり
 ○資源循環型社会の実現 ○上・下水道の整備 ○自然環境・生活環境の向上

5. 農・漁・商工・観光が一体となる、産業全体が成長するまちづくり
 ○農業の振興 ○水産業の振興 ○観光・ツーリズム・商工業の振興

6. 信頼と協働で創る、全員参加のまちづくり
 ○人権尊重・男女共同参画社会の推進 ○地域間交流・国際交流の推進 ○協働のまちづくりの推進

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(令和 2. 4. 1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(公財)	伊方原子力広報センター	昭58. 4. 1	6,000 (33.3)	原子力とその平和利用に関する知識の普及啓発
(株)	クリエイト伊方	平 9. 9. 1	10,000 (45)	農水産物の加工・販売等

〈総合計画〉

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
伊方町第2次総合計画	平28.3.7	平28～令7年度	平28～令2年度

〈行政機構〉

(令和 2. 4. 1現在)

